



家族で植樹

広がる植樹活動や花いっぱい運動

植物は二酸化炭素を吸収し、酸素を作ります
 緑を増やすことは地球温暖化対策にもなります
 また、花は見る人の心を和ませます
 地道な活動を続けて地球に優しくしましょう

「アボット勝山の森」 整備活動

アボットジャパン(株)勝山営業所は、福井県が進めている「企業の森」づくり運動に参加し、今年から5か年計画で「アボット勝山の森」に企業内で育てたコナラ、ミズナラなどの苗1800本の植樹を行っています。
 場所は、スキージャムへ向かう法恩寺山有料道路沿いの市有地で、この事業のために勝山市が無償貸与しています。
 今年は5月22日にアボットの従業員と家族、市内小学生の緑の少年団、(社)勝山青年会議所、福井県と勝山市の関係者約350人が現地植樹を行いました。

「企業の森」とは?

福井県が提唱する「福井の元気な森づくり」の一環で、企業の社会的責任に理解のある企業が、所有者から手入れの進まない森林などを借り受け、市町や地元住民などと協力して森づくりを行うことで、企業のイメージアップや環境教育の普及などを図るものです。



緑の少年団も活躍

勝山をきれいにする運動

勝山市では平成18年から「勝山をきれいにする運動」を展開し、趣旨にご賛同いただける地区や企業を募集しています。

現在市内57地区と20の企業が参加しており、昨年から「花いっぱい運動」の展開も始めました。

市では花苗の提供などを行っており、花壇・プランター造りなどを行う地区が増えてきています。

地区の継続した活動に

荒土町新保区では、6年前から区をあげて花いっぱい運動を行っています。区画整理で整備された多くの街路樹の根元の草取りをして花の苗を毎年植え



矢戸新保区長(中央)とあじさいの会のメンバー



今年の作業の様子(新保区)

きれいに整備しています。矢戸甚一区長は「最近参加者が本当に増えてきている。これからもずっと続けていきたい。」と話されました。

活動は、婦人会OBで組織する「あじさいの会」が中心に植え付けや草取りを年に3回程度行っています。



第2部

緑

を守る